

第 5 学年 体育科学習指導案

1 単元名 感じて とらえて ～ぐん・ぐん・ぐん～ (表現運動)

2 単元の目標

- 4 つの変化 (身体・リズム・かかわり・空間) を意識して, 題材から表したいイメージをとらえ, 即興的な表現や簡単な群 (集団) の動きで踊ることができるようにする。(技能)
- 場の安全に気を配りながら, 気持ちを合わせて楽しく踊ったり, 友達の動きのよいところを見付けたりすることができるようにする。(態度)
- 表したい動きを強調するような表現の仕方を知るとともに, 動きに変化を付けたり, 簡単な群 (集団) の動きを工夫したりできるようにする。(思考)

3 単元の評価規準

(※ 表内の番号は, 6 単元の構想と評価規準と対応)

	技能	態度	思考・判断
単元の評価規準	○ いろいろな題材から表したいイメージをとらえ, 即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊ることができる。	○ 運動に進んで取り組み, 互いのよさを認め合い, 助け合って練習や発表をしたり, 場の安全に気を配ったりしている。	○ 自分やグループの課題解決に向けて, 表現の基礎を知り, 練習の仕方を工夫している。
学習活動に即した評価規準	① 体幹部を動かして, 題材に合った動きをすることができる。 ② “動きの宝箱” にある動きを使って, 体幹部を動かしながら題材の感じを表現することができる。	① 場の安全に気を配りながら, 進んで運動に取り組んでいる。 ② 場の安全に気を配りながら, 気持ちを合わせて楽しく踊ったり友達の動きのよいところを見付けたりしようとしている。	① 題材に合った友達のよい動きを見付けている。 ② 題材に合った動きを作るために, “もととなる動き” に身体や空間の変化を加えた動きを選んでいる。

4 単元の構想

本単元では, 音を聞いて, イメージを膨らませ, 題材に合う動きへとつなげ, 表現することの楽しさを十分に体験させるために, 以下の手だてを大切に学習を進める。

(1) 心をほぐす活動

児童が体を使って表現することの楽しさを味わうために, 遊びの要素を取り入れた“心をほぐす活動”を授業の最初に行う。題材に合った動きも意識できるように, 体幹部が動くような踊りや動きを意図的に取り入れる。<活動例>ジャンケン, ハチ・ヨン, カラカラダンス など。

(2) 体幹部を意識させる“ぐんぐんベルト”

題材に合う動きを考え出すことは, 経験の浅い児童にとって難しい学習である。本単元では“もととなる動き”に「身体の変化」や「空間の変化」を加えることで, 題材にあった動きを表現できると考えた。そのために, 体幹部を意識しやすくなるような“ぐんぐんベルト”を付け, より大きい動きへとつなげていく。また, ベルトの位置を確認することで, 同じ視点で他者評価ができると考えた。



<ぐんぐんベルト>

円の部分が、体幹部の中心にくるように付ける。円の中には、自由に絵を描かせることで、より自分のベルトという思いをもたせるようにした。

ビニールテープを垂らすことで、さらに大きな動きにつなげるようにした。

(3) 題材に合ったイメージをもちやすい音の提示

児童は、「激しい風」といった言葉の情報だけでは、動きのイメージが膨らみにくい。そこで、単元を通して題材に合った音を使い、イメージをもちやすくする。また、1回の音の長さを“30秒程度”とし、いくつかの動きを繰り返して踊りが完成できるようにしたい。

(4) “動きの宝箱”や“good points!”の掲示で動きの共有化

表現運動の経験が浅い児童にとって大切なことは、どんな動きがあるかを知ることだと考える。教師や友達が考えた動きをまねしてみることで、少しずつ自分で動きを作り出すことができるようになる。本単元は、即興的な動きで構成されている。次時以降も、大切な動きとして共有できるようにするために、時間の中で見つけた動きを“動きの宝箱”や“good points!”を使って残したいと考えた。

(5) 動きを高め合える2人組・グループ

題材に合った動きが多様である表現運動において、大勢の前で踊ることには抵抗を感じる児童が多い。しかし、互いに表現しているので、見合うのは少人数となり、踊ることに対する「恥ずかしさ」を和らげることができると考えた。

5 児童の実態

(1) 表現運動への意識について

Q 表現運動は好きかどうか。

好き・まあまあ好き…13人、あまり好きではない・好きではない…21人

(主な理由)

○やったことがないから、やってみたい…7人、体を使って踊るのが好き、動きを考えてみたい…6人

△あまり踊ったことがないから…10人、恥ずかしい…6人、踊りを覚えるのが苦手…5人

(2) 児童について

子どもたちはとても明るく、課題に対してまじめに取り組む姿が多く見られる。何に対しても“やりたい！”という気持ちを強くもってはいるが、自分の感情を表現するのが苦手で、自分の考えや気持ちを伝えられず、おとなしくしている児童が多い。また、“友達と同じ”ことが安心材料になっており、型から外れたり一人だけ目立ったりすることを好まない児童も多い。

表現運動については、中学年ではリズムダンスを中心に実施しており、「表現」の経験は浅く、積極的に取り組む姿が少なかった。今年度に入り、リズムダンスやフォークダンスに取り組んだ。初めは「足の動きが難しい。」と感じていた児童も、同じパターンの繰り返しと分かり、抵抗なく楽しんで踊れるようになった。

6 単元の構想と評価規準

時	主な学習活動	留意点	評価規準（評価方法）		
			※番号は、3単元の評価規準と対応		
			技	態	思
1	<p>①心をほぐす活動 (体ジャンケン, ハチ・ヨン, カラカラダンス)</p> <p>②動きを考えよう 音を聞いて, どんな動きが合うか言葉で表す。</p> <p>③即興的表現 言葉に合う動きを考え, 踊る。 (教師対全員 → 代表児童 → 1人)</p> <p>④良かった動きを“動きの宝箱”に入れよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> “心をほぐす活動”では, 本時にかかわる動きを意図的に入れる。 “good points!”での評価ポイントを共通理解する。 “動きの宝箱”には, 児童から出た意見を教師が記録する。 		<p>①場の安全に気を配りながら, 進んで言葉に合う運動に取り組んでいる。(観察)</p>	
2	<p>①心をほぐす活動 (体ジャンケン, ハチ・ヨン, カラカラダンス)</p> <p>②本時の課題を確認 ○題材「激しい波」 音を聞いてどんな動きが合うか考える。 ○動きを「大きくする」にはどうすればよいか確認する。</p> <p>③即興的表現 音を聞いて動きを考える。</p> <p>④2人組で見せ合おう</p> <p>⑤よい動きを“動きの宝箱”に入れよう。</p> <p>⑥グループで互いの動きをまねし合おう。</p> <p>⑦本時の振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> “ぐんぐんベルト”を意識した表現になるとよいことを確認する。 音からのイメージを言語化し, 動きづくりに活かす。 ベルトを付けて, その動きから, 「大きな動きができているか」を確認する。 	<p>①“激しい波”の感じをとらえ, 体幹部を動かしながら踊ることができ (観察・カード)</p>	<p>②場の安全に気を配りながら, 気持ちを合わせて楽しく踊ったり友達の動きのよいところを見付けたりしようとしている。 (観察)</p>	<p>①友達の様子を見て, “激しい波”の感じを強調する表現を見付けている。 (カード)</p>
3 本時	<p>①心をほぐす活動 (体ジャンケン, ハチ・ヨン, カラカラダンス)</p> <p>②本時の課題を確認 ○題材「激しい風」 音を聞いてどんな動きが合うか考える。 ○動きを「大きくする」にはどうすればよいか確認する。</p> <p>③即興的表現 ○2人組で考えて踊る。</p> <p>④2人組で見せ合おう</p>	<ul style="list-style-type: none"> “ぐんぐんベルト”を意識した表現になるとよいことを確認する。 音からのイメージを言語化し, 動きづくりに活かす。 ベルトを付けて, その動きから, 「大きな動きができているか」を確認する。 	<p>①“激しい風”の感じをとらえ, 体幹部を動かしながら踊ることができる (観察・カード)</p>	<p>②同上</p>	<p>①友達の様子を見て, “激しい風”の感じを強調する表現を見付けている。 (カード)</p>

	⑤よい動きを“動きの宝箱”に入れよう。 ⑥グループで互いの動きをまねし合おう。 ⑦本時の振り返り	認する。			
4	①心をほぐす活動 (体ジャンケン, ハチ・ヨン, カラカラダンス) ②本時の課題を確認 ○題材「激しい波」か「激しい風」のどちらかを選ぶ。 音を聞いてどんな動きが合うか考える。 ③即興的表現 ○グループで考えて踊る。 ④各グループで考えた踊りを見せ合う。 ⑤各グループで考えた踊りを全員でまねする。 ⑥本時の振り返り	・グループの4人で題材を1つ選び, 今までの学習を生かして動きを考えて踊る。	②“動きの宝箱”にある動きを使って, 体幹部を動かしながら題材の感じを表現することができる。 (観察・カード)	②同上	②題材に合った動きを作るために, “もととなる動き”に身体や空間の変化を加えた動きを選んでいる。 (カード)

7 本時について

(1) ねらい (本時 3 / 4 時間目)

“激しい風”に合った動きを作ったり, 評価し合ったりすることを通して, 体幹部を動かすと, “激しい風”の感じを強調する表現になることが分かり, 体幹部を動かしながら踊ることができる。

(2) 評価規準

- “激しい風”の感じをとらえ, 体幹部を動かしながら踊ることができる。(技能)
- 場の安全に気を配りながら, 気持ちを合わせて楽しく踊ったり友達の動きのよいところを見付けたりしようとしている。(態度)
- 友達の動きを見て, “激しい風”の感じを強調する表現を見付けている。(思考・判断)

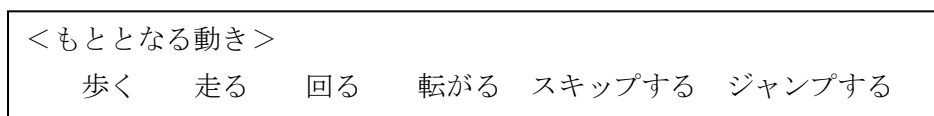
(3) 構想

本時では, 「ぐんぐんベルトを大きく動かして, 激しい風合った動きを表現しよう!」を課題として学習を進める。課題達成のために, 「できる」と「分かる」をつなげることを大切にしたい。

具体的には, 体を使って表現することの楽しさを実感しながら, “回る・ジャンプする”といった「もととなる動き」に変化を加え, “左右に回る・高低差を付けてジャンプする”ことで, 大きな動きになることをおさえる。さらに, “ぐんぐんベルト”を付けて踊り, その動きに着目して他者評価させることで, 体幹部を動かすと“より大きな動きになること”に気付かせたい(分かる)。そして, 気付いた動きを取り入れながら, もう一度自分の踊りを作ること(できる)で, 「分かる」と「できる」がつながっていく。

これらの活動を通して, 表現方法が「分かる」ようになり, 題材に合った表現が「できる」ことを実感し, 「また, やりたい!」という児童の姿を期待したい。

<もととなる動きと4つの変化>



<4つの変化>

身体の変化 *本時に目指す変化	リズムの変化	人間関係の変化	空間の変化
(へそを中心に) 高低に・左右に 前後に	ゆっくり (スロー再生) 速く	1人で・2人組で グループで	友達のところへ 壁に触って

[手だて1] 動きのイメージをもたせる音の提示

表現運動の経験が浅い児童が、“激しい風”を表現するとき、単に言葉で題材を示して動きを考えることは難しい。そこで、本時の題材“激しい風”に合った音を提示する。さらに、“激しい風”からイメージする動きを言語化(例:「くるくる回る」「ジャンプする」といった表現を)させることで、動きが作りやすくなると考えた。

[手だて2] 体幹部を意識させる “ぐんぐんベルト” の活用

本時では、題材に合わせて、手や足を大きく動かして表現することが予想される。しかし、手や足を伸ばすだけでは、表現できる大きさに限りがある。そこで、“ぐんぐんベルト”を付けることにより、意識を体幹部へ向ける。そこが変化することで、よりダイナミックな動きへと発展させたい。

[手だて3] よりよい動きを共有化するための “動きの宝箱” の掲示

“ぐんぐんベルト”の動きを活用して、題材に合った動きの視点を明確にし、友達のよい動きを“good Points!”に書かせる。さらに、個々の気づきを広げていき“動きの宝箱”に蓄積することで共有化を図る。

(4) 展開

	学習内容・活動	主な教師の働きかけと児童の反応	指導上の留意点と評価 【評価方法】
5	○心をほぐす活動		<ul style="list-style-type: none"> ・心が開放できるような雰囲気づくりを心掛ける。
5	○課題をつかむ。 ○動きを言語化する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 今日の題材は、これです。音を聞いてみましょう。 どんなふうでしたか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・強い風 ・台風 ・竜巻 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> みんななら、どんな動きをしますか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・くるくる回る。 ・ジャンプする。 ・手を伸ばして速く動かす。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 動きを“大きくする”というのは“ぐんぐんベルト”が移動するのを意識すると良かったですね。今日は、“ぐんぐんベルト”を動かして、“激しい風”に合う動きを考えましょう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・風を表す音(約30秒)を使って表現する。 ・“動きの宝箱”は掲示し、常に確認できるようにする。 ・動きがうまく浮かばない児童には、“もととなる動き”に変化を加えるようにアドバイスする。

		<ul style="list-style-type: none"> ・“ぐんぐんベルト”をたくさん動かして、激しい風に合う動きを見付けるぞ。 	
5	○“激しい風”に合う動きを考える①。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">“激しい風”に「合う動き」を考えましょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・速くジャンプするのがいいな。 ・くるくる回りながら動いてみよう。 ・手を体の近くからどんどん離していこう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・風を表す音（約 30 秒）を 5 回程度繰り返して流す。
5	○題材に合った動きを確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ペアでどんな動きができたか見せ合ひましょう。友達の良い動きは，“good points!”に書きましょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・（高さを変えながらジャンプして）“ぐんぐんベルト”が動いていた。 ・（いろいろな方向に回ったから）“ぐんぐんベルト”が動いていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よい動きを具体的に書く。 <u>（どんな動きをして）“ぐんぐんベルト”が動いていた。</u> ・“good points!”に書いたことを紹介し、よい動きを宝箱に入れて共有化を図る。
10		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">友達のよい動きを紹介しましょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・（手を高いところや低いところで動かして）“ぐんぐんベルト”が動いていた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">“激しい風”に合う動きを“動きの宝箱”にいれましょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・高さを変えてジャンプ。 ・いろいろな方向に回る。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価】思考・判断 友達の動きを見て，“激しい風”の感じを強調する表現を見付けている。（カード）</p> </div>
3	○“激しい風”に合う動きを考える②。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">“good points!”と“動きの宝箱”をヒントに、もう1度動きを考えましょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・高さを変えてジャンプしてみよう。 ・いろいろなところに回りながら行ってみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれが考えた動きを 4～6 人グループでまねして踊る。
7		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ペアでどんな動きができたか見せ合ひましょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目よりベルトがたくさん動いたぞ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">グループで、互いの動きをまねし合ひましょう。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価】態度 場の安全に気を配りながら、気持ちを合わせて楽しく踊ったり友達の動きのよいところを見付けたりしようとしている。（観察）</p> </div>
5	○本時の振り返り	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">今日の活動の様子をカードに書きましょう。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価】技能 “激しい風”の感じをとらえ、体幹部を動かしながら踊ることができる。（観察・カード）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価カードに自分の活動の様子を記録する。 </div>